

## 役員体制

インテックは、2017年6月16日開催の定時株主総会後の取締役会において、次のとおり役員体制を決定しました。

### 取締役



取締役会長  
金岡 克己  
(TIS株式会社 取締役)



代表取締役社長  
日下 茂樹  
(TIS株式会社 取締役)



代表取締役 副社長執行役員  
鈴木 良之  
生産本部長  
(TIS株式会社 取締役)

#### 取締役 副社長執行役員

佐藤 知樹

#### 取締役 専務執行役員

平井 克八

#### 取締役 常務執行役員

上野 唯泰  
業務管理本部長

#### 取締役(非常勤)

前西 規夫  
(TIS株式会社 代表取締役会長)

#### 取締役(非常勤)

柳井 城作  
(TIS株式会社 取締役)

### 監査役

#### 監査役

大滝 義衛

#### 監査役

野崎 秀和

#### 監査役(非常勤)

下平 卓穂  
(TIS株式会社 常勤監査役)

### 執行役員

#### 専務執行役員

石井 貞行  
社会システム戦略事業部長

#### 専務執行役員

林 弘明  
人事本部長、人事部長、  
大山研修センター所長、  
キッズホーム所長、健康管理室長

#### 専務執行役員

中森 行雄  
第二金融ソリューション事業本部、  
産業ソリューション事業部担当

#### 常務執行役員

今里 直人  
金融ソリューションサービス事業本部長

#### 常務執行役員

佐野 洋  
ネットワーク&アウトソーシング事業本部長

#### 常務執行役員

新海 章  
首都圏社会サービス本部長

#### 常務執行役員

牧野 賢藏  
行政システム事業本部長、  
データエントリセンター所長

#### 常務執行役員

倉田 亨  
首都圏産業本部長

#### 常務執行役員

岸 善之  
財務経理本部長

#### 常務執行役員

北岡 隆之  
企画本部長

#### 執行役員

本江 康浩  
第二金融ソリューション事業本部長

#### 執行役員

荒野 高志  
先端技術研究所長

#### 執行役員

上田 伸一  
中部地区本部長

#### 執行役員

神初 尚武  
総務部長、  
業務管理本部 北陸業務部長

#### 執行役員

小山内 誠  
AOS事業本部長

#### 執行役員

三上 雅弘  
第一金融ソリューション事業本部長

#### 執行役員

黛 文彦  
産業ソリューション事業部長

#### 執行役員

佐藤 正修  
北陸地区本部長

#### 執行役員

勝見 和彦  
西日本地区本部長

#### 執行役員

眞門 聡明  
企画本部副本部長、経営企画部長

## 2017年3月期決算 インテック、経常利益過去最高更新

### □ T I S

T I S インテックグループのT I S は、2017年5月10日に2017年3月期の連結決算を公表しました。売上高は3,933億円（前期比2.8%増）、営業利益は270億円（同10.6%増）、経常利益270億円（同10.5%増）となり、6期連続で増収増益となりました。ROE（自己資本当期純利益率）は収益性向上等に伴い、中期経営計画の目標値8.0%を1年前倒して達成し過去最高の8.8%となりました。

また、2018年3月期の業績予想として、売上高4,000億円、営業利益300億円、経常利益は300億円を公表しました。ROEは2021年3月期までに10%超達成に向け、さらなる向上を目指し、2018年3月期は9.0%を見込んでいます。

### □ インテック

インテックの売上高は1,153億円（前期比1.8%減）となり、利益については

プロジェクト管理の改善により営業利益は68億円（同7.9%増）、経常利益は71億円（同12.0%増）、当期純利益は42億円（同3.8%減）となりました。経常利益は過去最高、売上高と当期純利益は過去2番目の水準となっています。

今後につきましては、社名「I N T E C」に込めた理念を追求し、ソフト

ウェア、システム・インテグレーション、アウトソーシング、ネットワークなどを統合したソリューションをお客さまにお届けすることで業績拡大に努めます。2018年3月期には売上高1,220億円、営業利益76億円、当期純利益45億円を見込んでいます。

T I S (単位：百万円、括弧内は対前年比増減率)

	2017年3月期実績		2018年3月期予想	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	393,398	(2.8%)	400,000	(1.7%)
営業利益	27,019	(10.6%)	30,000	(11.0%)
経常利益	27,092	(10.5%)	30,000	(10.7%)
当期純利益	16,306	(28.6%)	18,000	(10.4%)

インテック (単位：百万円、括弧内は対前年比増減率)

	2017年3月期実績		2018年3月期予想	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	115,335	(△1.8%)	122,000	(5.8%)
営業利益	6,806	(7.9%)	7,600	(11.7%)
経常利益	7,161	(12.0%)	7,600	(6.1%)
当期純利益	4,200	(△3.8%)	4,500	(7.1%)

## 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定の最高位を取得

インテックは2017年5月、女性活躍推進に関する優れた取り組みを行う企業に与えられる「えるぼし」認定の最高位を取得いたしました。

同認定は、女性活躍推進に関する取り組みの行動計画の策定・届出を行った企業のうち、厚生労働大臣が認定を行うもので、インテックは①採用 ②継続就業 ③労働時間等の働き方 ④管理職比率 ⑤多様なキャリアコースのすべての基準を満たし、最高位の3段階目を取得しました。

インテックは、1964年の創業当初か

ら女性を大切な戦力と位置付け、採用・登用・能力開発において性別による区別をしないこと、育児休業などの子育て支援制度も男女を問わず取得可能とし、また2007年には事業所内保育施設「インテックキッズホーム」を設置し、育児支援制度の拡充により女性が安心して働き続けることができる環境を整備してまいりました。

今後も、より一層活躍する女性を増やすことを目標に様々な活動を推進し、社員一人ひとりのライフスタイルにあった働きがいのある企業の実現を目指します。



女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし」(3段階目)

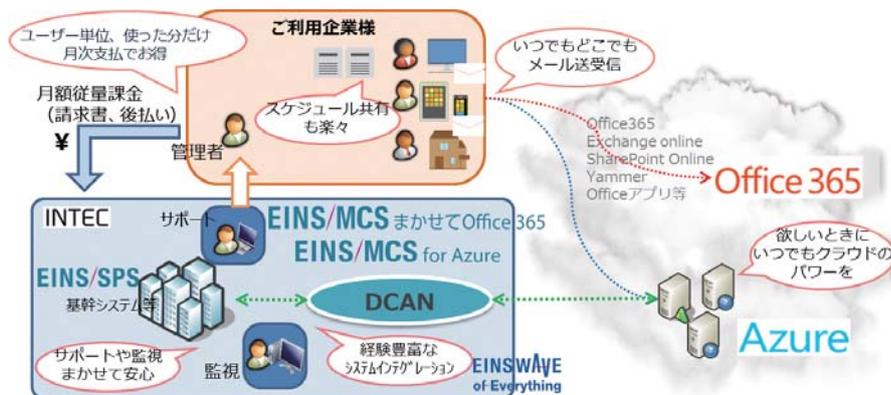


富山労働局長 山崎英生氏（右）とインテック 専務執行役員 人事本部長 林弘明

## 「EINS WAVE」にマルチクラウドサービス「EINS/MCS」登場

インテックは、より広範なお客さまがクラウドサービスのメリットを享受し、クラウド化を支援する新サービスとして「EINS/MCS (Multi Cloud Service)」を開始しました。2017年2月から、日本マイクロソフトの統合型情報共有クラウドサービス「Office 365」を活用した「EINS/MCS まかせてOffice 365」を、また4月からはクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を活用した「EINS/MCS for Azure」も提供しています。

EINS/MCSご利用イメージ



■お問い合わせ先

株式会社インテック ネットワーク&アウトソーシング事業本部 N&O事業推進部  
E-Mail: net\_info@intec.co.jp TEL:045-451-2398

## 「快速サーチャーGX」がJIIMAの電子帳簿保存法スキャナ保存の製品認証取得

インテックの帳票公開ソリューション「快速サーチャーGX」が、2017年1月、公益社団法人日本文書情報マネジメント協会（以下JIIMA）の「電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証制度」における製品認証を取得しました。これは、電子帳票システムとしては国内で初めてとなります。

JIIMAの同認証は、スキャナ保存対応ソフトウェアの機能やマニュアル、取扱説明書などを審査し、法的要件を

満たしていると判断された製品が認定されるものです。法的要件をクリアした「快速サーチャーGX」を利用することで、スキャナ保存のシステム要件を意識することなくスムーズな導入を実現し、導入後の運用においてもより作業効率の向上が期待できます。

また2017年5月には、20年の長きにわたり文書電子化の普及に尽力したことが評価され、JIIMAより「20年会員顕彰」を受けました。



■お問い合わせ先

株式会社インテック 産業ソリューション事業部  
ビジネスソリューション部  
E-Mail: itps\_info@intec.co.jp TEL:03-5665-5140

## Hyperledger Iroha(いろは)の開発パートナーとして参画

インテックは2017年3月から、FinTechビジネスの基盤であるブロックチェーンのオープンソースコミュニティHyperledger Iroha (いろは)の開発パートナーとして参画しています。

インテックは、これまで先端技術研究所でのブロックチェーンの研究開発、また昨年5月にはFinTechプロジェクトチームを立ち上げ、技術者向けの

社内研修の実施と実ビジネスへの展開を検討してきました。さらに昨年10月には「富山ブロックチェーン研究会」を発足させ、地域におけるブロックチェーンの応用案創出とこれらに関する人的ネットワークを形成するなど、新たな分野への推進体制を構築してきました。

今後、2018年3月までに大手金融機

関向けブロックチェーン技術者を100名規模で育成することを目標としています。

■お問い合わせ先

株式会社インテック  
先端技術研究所  
E-Mail: info-ati@intec.co.jp  
TEL:076-444-8012



## ビッグデータ総合支援サービス「ARQLID」にIoT・AI技術を追加

インテックは、ビッグデータ総合支援サービス「ARQLID（アークリッド）」にIoT・AI技術を追加し、2017年7月から統合データ活用サービスとして提供を開始しました。「ARQLID」は、ビジネス変革や業務課題をスピーディに解決するためのサービス機能を備え、これらを提供するプラットフォーム（マイクロサービス共通基盤）を利用することで、データ活用システムの品質の確保・開発コストの削減に加えて、最短1ヵ月からのスピーディな導入を実現します。

マイクロサービス共通基盤イメージ



■お問い合わせ先

株式会社インテック 社会システム戦略事業部 社会システムソリューション推進部  
E-Mail: arqlid\_info@intec.co.jp TEL: 03-5665-5141

## 観光用アプリで祭の山車の位置をリアルタイムに配信

インテックは、2017年5月1日に行われた高岡御車山祭（高岡市）、5日に行われた城端曳山祭（南砺市）に、山車の位置をリアルタイムで確認できるスマートフォン・タブレット用アプリを提供しました。当取り組みは、地理に不案内な観光客にも祭りを効果的に楽しんでもらい、伝統行事をより活性化させようとインテックが企画提案したものです。本機能は、衛星利用測定システム

（GPS）の発信機を山車に設置してその位置を計測し、スマートフォンに表示した地図上で山車の現在地をリアルタイムに確認できるものです。インテックと富山県立大学が開発し、とやま観光推進機構の観光客向けアプリ「ディスカバー トヤマ」のコンテンツとして項目が追加されました。

インテックは今後も、富山に暮らす皆さまや富山を訪れる方々に、より富



ご使用イメージ

山の魅力をお伝えできるよう地域活性化にICT利活用の側面から貢献してまいります。

■お問い合わせ先

株式会社インテック 北陸地区本部 事業推進チーム  
E-Mail: hokuriku\_jisui@intec.co.jp TEL: 076-444-8020

## 富山大学で寄附講義を開講

インテックは、富山大学経済学部で2017年4月11日から7月25日までの期間、寄附講義を開講しました。代表取締役社長の日下茂樹をはじめ当社役員や社員、およびICTの第一線で活躍される社外の方が講師を担当しました。富山大学への寄附講義は、2013年10月から11月以来2回目となります。

本講義は、IT/ICTの発展の歴史、最

新の技術や市場動向、さらにはIT/ICTがもたらす未来の社会像について、インテックが50余年にわたり培ってきた技術・知見を未来を担う学生の方々に共有してもらい、デジタル社会の一員として必須とされる基礎知識を身に付けていただくことを目的として開講したものです。同学部の2～4年生が対象で、およそ100名が受講しました。



4月「IT産業史総論」  
代表取締役 副社長執行役員 鈴木良之の講義の様子

インテックは、未来社会の発展に寄与する人材をIT/ICTの側面から育成し、地域に貢献いたします。